

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.149; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-07-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009426

Senri Ethnological Reports

149

SER 149

国立民族学博物館
調査報告

149

Whaling Cultures in the World
Current Status, History and Locality

Edited by

Nobuhiro Kishigami

National Museum of Ethnology
Osaka 2019

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-906962-80-8 C3039



世界の捕鯨文化

— 現状・歴史・地域性

岸上伸啓 編

世界の捕鯨文化

— 現状・歴史・地域性

岸上伸啓 編

国立民族学博物館 2019

国立民族学博物館 調査報告

149

世界の捕鯨文化
— 現状・歴史・地域性

岸上伸啓 編

国立民族学博物館

2019

目 次

はじめに	岸上 伸啓	1
世界の捕鯨と捕鯨に関する最近の研究動向	岸上 伸啓	5
第1部 商業捕鯨		
アイスランドにおけるナガスクジラ捕鯨, ミンククジラ捕鯨の現況と課題	浜口 尚	33
近代捕鯨のゆくえ — あらたな鯨食文化の創発にむけて	赤嶺 淳	55
第2部 先住民による捕鯨		
北アメリカ先住民の捕鯨の現状と課題	岸上 伸啓	85
グリーンランド社会の中のクジラ — 捕る, 食べる, そして活用する	本多 俊和 (スチュアート ヘンリ)	105
第3部 小型沿岸捕鯨		
日本の小型捕鯨業の歴史と現状	石川 創	129
デンマーク領フェロー諸島の捕鯨文化 — 和歌山県太地町との比較から	河島 基弘	153
第4部 クジラをめぐる国際政治と地域信仰の歴史		
EUの「クジラの生と死に対する管理」とその政治的含意	高橋美野梨	175
護る神から守られる神へ — 韓国とベトナムの鯨神信仰を中心に	李 善愛	195
おわりに	岸上 伸啓	213
執筆者紹介		215

CONTENTS

Preface	
Nobuhiro KISHIGAMI	1
Whaling in the World and Recent Research Trends on Anthropological Studies of Whaling	
Nobuhiro KISHIGAMI	5
Part 1. Commercial Whaling	
Updates and Problems of Whaling Activities in Iceland	
Hisashi HAMAGUCHI	33
From Oil to Meat: History and Prospects of Modern Whaling	
Jun AKAMINE	55
Part 2. Indigenous Whaling	
Current Status and Issues of Indigenous Whaling in North America	
Nobuhiro KISHIGAMI	85
Whales in Greenlandic Society: Capture and Utilization	
Shunwa HONDA (Henry STEWART)	105
Part 3. Small-Scale Coastal Whaling	
Japanese Small-Type Whaling: History and Current Status	
Hajime ISHIKAWA	129
Whale Hunting and Indigenous Culture of the Faroe Islands, Denmark: A Brief Report in Comparison with Taiji, Japan	
Motohiro KAWASHIMA	153
Part 4. International Politics and History of Local Beliefs Concerning Whales	
EU's Management of the Life and Death of Whales and Its Political Implications	
Minori TAKAHASHI	175
To God to Be Protected from God of Protection: A Case Study of Whale God Belief in Korea and Vietnam	
Sun-ae II	195
Concluding Remarks	
Nobuhiro KISHIGAMI	213
List of Contributors	215

第 1 部
商業捕鯨

第2部
先住民による捕鯨

第 3 部
小型沿岸捕鯨

第4部

クジラをめぐる国際政治と地域信仰の歴史

執筆者紹介 (50音順)

赤嶺 淳 (一橋大学大学院社会学研究科・教授)

専門は東南アジア地域研究、グローバル・スタディーズ、食生活誌学、肉食と油脂消費の社会史。おもな著作に『ナマコを歩く—現場から考える生物多様性と文化多様性』(2010年 新泉社)や『鯨を生きる—鯨人の個人史・鯨食の同時代史』(2017年 吉川弘文館)などがある。

石川 創 (公益財団法人下関海洋科学アカデミー鯨類研究室・室長)

専門は鯨類のストランディング(座礁・漂着)、捕鯨の動物福祉。主な著作に『クジラは海の資源か神獣か』(2011年 NHK出版)や『日本沿岸のストランディングレコード(1901~2012)』(編著 2013年 下関鯨類研究室)などがある。

李 善愛 (宮崎公立大学・教授)

専門は文化人類学、東アジア地域や東南アジア地域の海洋民研究。おもな著作には『海を越える 済州島の海女—海の資源をめぐる女のたたかい』(2001年 明石書店)、『干潟の自然と文化』(編著 2018年 東海大学出版部)などがある。

河島基弘 (群馬大学社会情報学部・准教授)

専門は社会学、比較文化論、環境倫理。おもな著作に『イメージの中の日本』(共著 2008年 慶應義塾大学出版会)、『神聖なる海獣—なぜ鯨が西洋で特別扱いされるのか』(2011年 ナカニシヤ出版)などがある。

岸上伸啓 (国立民族学博物館・教授/人間文化研究機構・理事)

専門は文化人類学、北アメリカ極北地域研究、北米先住民文化研究。おもな著作に『クジラとともに生きる—アラスカ先住民の現在』(2014年 臨川書店)や『はじめて学ぶ文化人類学』(編著 2018年 ミネルヴァ書房)などがある。

高橋美野梨 (北海道大学・助教)

専門は国際政治学、現代グリーンランド政治研究、北極政治研究。おもな著作に『自己決定権をめぐる政治学—デンマーク領グリーンランドにおける「対外的自治」』(2013年 明石書店)や *The Influence of Sub-state Actors on National Security: Using Military Bases to Forge Autonomy* (編著 2018年 Springer) などがある。

浜口 尚 (園田学園女子大学短期大学部・教授／園田学園女子大学・図書館長)

専門は文化人類学、捕鯨文化研究、カリブ海地域文化研究。おもな著作に『先住民生存捕鯨の文化人類学的研究』(2016年 岩田書院)、論文 Whale Watching: Trouble on the Small Whaling Island of Bequia, *Japanese Journal of Cultural Anthropology* (2015) などがある。

本多俊和 (スチュアート ヘンリ) (放送大学元教授)

専門は文化人類学、北アメリカ極北地帯の歴史と民族誌、北アメリカ先住民文化と社会、おもな著作に『アイスランド・グリーンランド・北極を知るための65章』(共著 2016 明石書店)、「イヌイト文化伝統の装飾について—極北4600年の『美術史』序説」『カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題—国立民族学博物館所蔵のイヌイトおよび北西海岸先住民の版画コレクションを通して (国立民族学博物館調査報告 131)』(2015年 国立民族学博物館) などがある。

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<https://minpaku.repo.nii.ac.jp/>

- No.148 カクチケル年代記 (2019; 八杉穂穂著; 日本語・英語・スペイン語・カクチケル語)
- No.147 台湾原住民の姓名と身分登録 (2019; 野林厚志・松岡 格編; 日本語・中国語)
- No.146 *Satawalese Cultural Dictionary* (2018; comp. Sauchomal Sabino, Tomoya Akimichi, Shuzo Ishimori, Ken'ichi Sudo, Hiroshi Sugita, and Ritsuko Kikusawa, ed. Lawrence A. Reid; 英語・サタワル語)
- No.145 展覧会の研究「ラテンアメリカの音楽と楽器」展 アンケート調査を中心として (2018; 山本紀夫著; 日本語)
- No.144 社会主義制度下の中国飲食文化と日常生活 (2018; 河合洋尚・刘 征宇編; 中国語・日本語・英語)
- No.143 *How Do Biomedicines Shape People's Lives, Socialities and Landscapes?* (2017; eds. Akinori Hamada and Mikako Toda; 英語)
- No.142 中国における歴史の資源化の現状と課題 (2017; 塚田誠之・河合洋尚編; 日本語・中国語)
- No.141 アーミッシュたちの生き方——エイジ・フレンドリー・コミュニティの探求 (2017; 鈴木七美; 日本語)
- No.140 国立民族学博物館収蔵「ホビ製」木彫人形資料熟覧 ソースコミュニティと博物館資料との「再会」1 (2017; 伊藤敦規編; 日本語・英語)
- No.139 財団法人日本民族学協会附属民族学博物館(保谷民博)旧蔵資料の研究 (2017; 飯田 卓・朝倉敏夫編; 日本語)
- No.138 学校と博物館でつくる国際理解教育のワークショップ (2016; 上羽陽子・中牧弘允・中山京子・藤原孝章・森茂岳雄編; 日本語)
- No.137 伝統知、記憶、情報、イメージの再収集と共有——民族誌資料を用いた協働カタログ制作の課題と展望 (2016; 伊藤敦規編; 日本語・英語)
- No.136 中国地域の文化遺産——人類学の視点から (2016; 河合洋尚・飯田 卓編; 日本語)
- No.135 *Культура народов Сибири и Дальнего Востока в музейных коллекциях России и Японии: методы сбора, учета, хранения и экспозиции* (2016; Ред. Шагланова Ольга А. и Сасаки Сиро (シヤグラノヴァ O. A.・佐々木史郎編); ロシア語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

吉田 憲司 館長
平井京之介 副館長
關 雄二 副館長
園田 直子 人類基礎理論研究部
林 勲男 超域フィールド科学研究部
飯田 卓 人類文明誌研究部
三尾 稔 グローバル現象研究部
野林 厚志 学術資源研究開発センター (研究出版委員長)

令和元年6月24日発行

国立民族学博物館調査報告 149

編者 岸上伸啓

発行 大学共同利用機関法人
人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL.06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL.06(6304)9325(代表)
